

大阪大学大学院医学系研究科漢方医学寄附講座活動報告

◇職員

准教授	西田 愼二
助教	井上 隆弥
	岸田 友紀
	有光 潤介
特任研究員	中西 美保
	大塚 静江
事務	大橋 真理

◇沿革

大阪大学大学院医学系研究科は、大阪大学のモットーである「地域に生き世界に伸びる」の一環として、21世紀を担う医療のスペシャリストの育成と世界をリードする研究の推進を目指している。すでに最先端の研究として遺伝子治療、再生医療をはじめ多くの実績を積み上げ、今後も未来医療の発展に大きな可能性が期待されているところである。

しかしながら一方で高齢化社会が進行し、健康志向、Quality of Life 改善が望まれる中、西洋医学を基盤とする先端医療のみでは対応不可能な病態の増加、症状の多様化がみられる。西洋医学に対し、東洋医学は別の観点から疾患及び患者に対応する学問として発展してきている。東洋医学は患者の症状を常に多角的に捉え、総合的な所見を重要視し、個々の対応を行い治療に貢献してきた。現代の医薬は、単一の症状に効果が出るように開発されてきたのに対し、漢方薬は多様な症状に効果を与えることを想定して開発されている。近年、遺伝子医学の分野で言われている「個の医学」や生活習慣病の分野で注目されている「予防医学」の概念などは、最先端の西洋医学の立場から、あらためて東洋医学にその考え方を学ぼうとする動きが広がりつつある。東洋医学は中国や東南アジア特有の学問であり、「漢方医学」は我が国が独自に発展させてきたものである。

本講座を開設することにより、これらの歴史的に継承されてきた医学を新たに最先端の解析技術を駆使して有効性を検証し、さらに発展させ、新しい「統合医療」を目指すことが可能になると考えられる。このような背景から、平成17年10月に漢方医学寄附講座が開設された。

◇診療活動

平成21年4月より、岸田の産休復帰、大塚の入局などにより、外来コマ数が3つ増加した。こ

れにより、月曜・火曜は午後1診、水曜は午後2診、木曜・金曜は午前午後各1診の、合計8診体制となった。外来場所は総合診療部の午後診枠を使用、初診・再診ともに完全予約制である。院外処方であるが、日本で保険適応のあるほぼ全ての種類のエキス製剤と生薬製剤が処方可能である。外来部門のみであるが、他科入院中の患者に対する診察は可能である。なお、鍼灸治療は行っていない。

1コマの患者数は初診が1～2名、再診が10～20名程度である。大学病院の予約制外来という特殊事情もあり、慢性疾患で病歴・愁訴の複雑な患者が多い。疾患群としては多い順に慢性の疼痛、身体表現性障害、悪性腫瘍治療後の後遺症や補助療法、気分障害・不安障害などの精神科疾患、自己免疫疾患、産婦人科疾患、皮膚科疾患、疲労を主訴とする者、消化器疾患などである。

◇教育活動

1) 学部学生に対して

3回生対象：薬理学の中で2コマの講義を行っている。主に生薬薬理学として解説し、漢方医学の理論的背景はあまり触れない。

4回生対象：臨床医学特論の中で7コマの講義を行う。教室員全員による講義を行っている。進級のために必要な授業の1つであり、評価は出席とレポートによって行っている。出席率は非常に高い。

6回生対象：総合診療部の臨床実習中に、希望者に対して外来実習を行っている。

2) 大学院学生に対して

大学院医科学専攻修士課程に対して、漢方医学の授業を1コマ行っている。

3) 大学クラブ活動に対して

医学部和漢薬研究会の学生に対し、顧問として日常勉強会また学園祭での適宜指導を行っている。医学部のクラブではあるが、総合大学であることより薬学部や社会学系の学生も参加しており、アクティブに活動を行っている。

4) 研修医に対して

大阪大学にて初期研修医に対して、最低限知っておくべき漢方医学の基礎知識について解説をした。これは大阪大学卒後研修センターの主催として行なわれ、研修医の参加が義務付けられているものである。

5) 学内教育・啓蒙活動 (faculty development の一環として)

大阪大学漢方研究会（クローズドメンバー）を月に2回開催している。この研究会は講座発足当初より開始し、症例検討、研究報告、学会予行、ならびに輪読会などを行なっている。なお、輪読する書物は大塚敬節先生の「漢方診療三十年」と傷寒論であったが、ともに最近ようやく輪読終了となった。この研究会は当科医局員のみならず、内科、救命センター、薬剤部、そして院外医師などから、幅広く参加がみられる。メンバーの中から、東洋医学会総会および関西支部例会へ、また各自の専門の学会に漢方をテーマとした演題を積極的に発表し、東洋医学会専門医取得に向けて勉強している。

また、大阪大学基礎漢方研究会（オープンメンバー）を不定期で6回シリーズとして月に1回開催した。これはより基礎的な内容を開設し、大阪大学学内での漢方の基礎的な普及をはかることを目的とし、臨床の各科医師、ならびに歯科医師、看護師などの参加もみられた。

なお、平成18年3月26日より西田慎二が指導医、ならびに当該施設が日本東洋医学会研修施設に認定されている。専門医は当初西田1名のみであったが、現在医局員6名中5名が専門医を取得した。

6) 他学に対して

西田は関西医科大学非常勤講師として、「全人的医療学」の授業(4回生)を1コマ担当した。また、神戸大学についても非常勤講師として、「全人医学・心療内科領域の漢方治療について」の授業(6回生)を1コマ担当した。さらに、関西医科大学の少人数での研究会での講師を勤めた。

◇研究活動

西田は心身症疾患についての臨床研究を行っている。また、本学公衆衛生学教室、ならびに大阪府立健康科学センターとの共同研究にて、冷え症のメカニズム解明と漢方薬の作用に関する研究を開始した。井上、中西は疼痛疾患に対して基礎および臨床研究を行っている。岸田は運動器・整形外科領域についての基礎および臨床研究を行っており、平成19年度科学研究費補助金(若手B)の“老年疾患における漢方薬の科学的効果判定”を遂行中である。有光は膠原病疾患についての基礎及び臨床研究、ならびに平成21年度科学研究費補助金(若手B)に“NSAIDs起因性小腸潰瘍に対する大建中湯の予防効果の検討”が採択され、その研究を開始した。また教室全体として、漢方の古典的診断手法の定量・定性化に向けての研究を進めている。

◇学会活動

第19回漢方治療研究会が、聖光園細野診療所の中田敬吾院長を会頭として、西田が実行委員長として、大阪大学中之島センターにて平成21年10月11日に開催された。特別講演2題、一般演題25題と多数の演題が集まり、参加者も約220名と盛況であった。

◇学外講演、学会発表

A) 講演

- 1) 西田慎二:「冷え症の漢方治療」、第4回南大阪漢方研究会、堺、2009.1
- 2) 西田慎二:「うつ病・うつ状態の洋漢統合医療」、日本医薬品卸勤務薬剤師会大阪府支部 平成20年度教育研修管理者継続研修講座、大阪、2009.2
- 3) 有光潤介:「膠原病に対する漢方治療」、第18回愛媛東洋医学集談会、松山、2009.3
- 4) 西田慎二:「うつ病・うつ状態の漢方治療」、第18回愛媛東洋医学集談会、松山、2009.3
- 5) 有光潤介:「膠原病に対する漢方治療」、神戸和漢薬治療研究会、神戸、2009.4
- 6) 西田慎二:「うつ症状に対する漢方治療」、南大阪漢方研究会、堺、2009.7
- 7) 西田慎二:「不定愁訴の漢方治療」、医学生のための漢方セミナー、四日市、2009.8
- 8) 西田慎二:「店頭で役立つ漢方治療 胃炎・胃潰瘍」、京都漢方研究会 第19期練成講座、京都、2009.9
- 9) 西田慎二:「プライマリケアと漢方～漢方が得意とする消化器疾患～」、三重東洋医学教育研究会 第2回定例漢方勉強会、津、2009.9
- 10) 西田慎二:「心療内科領域における漢方治療～心身症とうつ症状などを中心に～」、奈良漢方医学セミナー、奈良、2009.12
- 11) 井上隆弥:「癌性疼痛のペインマネイジメント」、大阪大学研修医セミナー、大阪、2009.12

B) 学会発表

- 1) 中西美保、蔭山 充、中井恭子、福井弥己朗、有光潤介、西田慎二: 柴胡加竜骨牡蛎湯が不眠に著効した顔面外傷後疼痛の36歳男性、日本東洋心身医学研究会、東京、2009.2
- 2) 井上隆弥: 頸肩腕痛: ペインクリニック的痛みのとらえ方、日本脊椎脊髄病学会、神戸、2009.4
- 3) 萩原圭祐、嶋 良仁、河合麻理、桑原裕祐、平野 亨、有光潤介、檜崎雅司、緒方篤、田中敏郎、川瀬一郎: トシリズマブにより速やかに腸管アミロイド沈着が改善したTNF阻害治療不応性AAアミロイドーシスの一例、日本リウマ

- チ学会総会・学術集会、東京、2009.4
- 4) 萩原圭祐、河合麻理、桑原裕祐、平野 亨、有光潤介、嶋 良仁、榑崎雅司、緒方 篤、田中敏郎、川瀬一郎:免疫学的網羅解析によるトシリズマブの薬効解析、日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2009.4
 - 5) 河合麻理、萩原圭祐、嶋 良仁、桑原裕祐、平野 亨、有光潤介、榑崎雅司、緒方 篤、田中敏郎、川瀬一郎:トシリズマブにより寛解に導いた治療抵抗性の再発性多発軟骨炎の2症例、日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2009.4
 - 6) 萩原圭祐、有光潤介、河合麻理、桑原裕祐、平野 亨、嶋 良仁、榑崎雅司、緒方 篤、田中敏郎、川瀬一郎:インフリキシマブ不応となった関節リウマチ患者に半夏瀉心湯合六君子湯が奏功した一例、日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2009.4
 - 7) 嶋 良仁、桑原裕祐、平野 亨、河合麻理、有光潤介、萩原圭祐、榑崎雅司、緒方 篤、田中敏郎: All-Trans retinoic acid (ATRA) による強皮症治療の試みと vesmeter による評価、日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2009.4
 - 8) 平野 亨、河合麻理、有光潤介、桑原裕祐、萩原圭祐、榑崎雅司、嶋 良仁、緒方 篤、田中敏郎: ベーチェット病に対するインフリキシマブ投与の継続効果、日本リウマチ学会総会・学術集会、東京、2009.4
 - 9) 尾崎和成、有光潤介、萩原圭祐、大谷安司、中西美保、井上隆弥、大塚静英、清水健太郎、岸田友紀、森下竜一、西田慎二: 五苓散エキス製剤が有効であった、認知症後期高齢者の洞不全症候群の2症例、日本東洋医学会学術総会、東京、2009.6
 - 10) 井上隆弥、有光潤介、大塚静英、中西美保、岸田友紀、萩原圭祐、大谷安司、尾崎和成、清水健太郎、西田慎二: 抑肝散によってワーファリンの作用が一時的に増強した一症例の経験、日本東洋医学会学術総会、東京、2009.6
 - 11) 中西美保、蔭山 充、中井恭子、有光潤介、井上隆弥、岸田友紀、萩原圭祐、大谷安司、尾崎和成、西田慎二: 難治性真性ケロイドに血府逐瘀湯加減が有効であった1症例、日本東洋医学会学術総会、東京、2009.6
 - 12) 有光潤介、萩原圭祐、大谷安司、尾崎和成、中西美保、大塚静英、井上隆弥、岸田友紀、清水健太郎、西田慎二: 脳脊髄液減少症に対して人参湯加味方が有効であった2例、日本東洋医学会学術総会、東京、2009.6
 - 13) 大谷安司、有光潤介、萩原圭祐、中西美保、大塚静英、岸田友紀、井上隆弥、尾崎和成、清水健太郎、西田慎二: 胸腺癌治療中に悪化した心嚢液貯留に五苓散類が奏功した一例、日本東洋医学会学術総会、東京、2009.6
 - 14) 西田慎二、萩原圭祐、中西美保、大塚静英、有光潤介、岸田友紀、井上隆弥、大谷安司、尾崎和成、清水健太郎: 多型痒疹の治療経過で悪性リンパ腫があきらかになった、腫瘍随伴性皮膚病変の1例、日本東洋医学会学術総会、東京、2009.6
 - 15) 井上隆弥、岸田友紀、有光潤介、西田慎二: 頭痛の東洋医学的治療について、関西頭痛懇話会、大阪、2009.6
 - 16) 井上隆弥、阪上 学、松田 陽一、柴田 政彦、真下 節: 当院における第1枝三叉神経痛11症例の治療経過について、ペインクリニック学会中国四国合同地方会、松山、2009.6
 - 17) 井上隆弥、安部剛志、古瀬洋一、阪上 学、植松弘進: 胸椎椎間板変性による背部痛の可能性が示唆された1症例の経験、日本ペインクリニック学会、名古屋、2009.7
 - 18) 井上隆弥、安部剛志、阪上 学、柚木圭子、植松弘進、松田陽一: ガッセル神経節ブロック高周波熱凝固法(GGB): ブロックの効果と閾値に関する研究、日本ペインクリニック学会、名古屋、2009.7
 - 19) 中西美保: 疼痛疾患の漢方治療、滋賀医科大学麻酔科同門会、滋賀、2009.7
 - 20) 中西美保、蔭山 充、福井弥己郎、野坂修一、有光潤介、大塚静英、井上隆弥、岸田友紀、西田慎二: 温経湯が著効した腰痛症の1症例、日本疼痛漢方研究会学術集会、東京、2009.8
 - 21) 中井恭子、蔭山 充、今中基晴、浮田勝男、中西美保、志馬千佳、石河 修、西田慎二: 妊娠中のマイナートラブルに“二陳湯”“黄苓湯”エキス等が劇的に有効であった高齢初産婦、産婦人科漢方研究会、東京、2009.9
 - 22) 大塚静英、有光潤介、萩原圭祐、河合麻理、平野 亨、嶋 良仁、桑原裕祐、緒方 篤、西田慎二、田中敏郎: 漢方治療が有効であった全身性エリテマトーデスの1例、第189回日本内科学会近畿地方会、大阪、2009.9
 - 23) 井上隆弥、安部剛志、岸田友紀、有光潤介、大塚静英、中西美保、西田慎二: 薬物乱用頭痛に対し漢方治療が有効であった2症例の経験、日本脳神経外科漢方研究会、東京、2009.10
 - 24) 尾崎和成、有光潤介、萩原圭祐、大谷安司、中西美保、井上隆弥、大塚静英、清水健太郎、岸田友紀、森下竜一、西田慎二: 複数の抗生剤無効であった副鼻腔炎(上顎洞炎)に荊芥連翹湯が著効した一例、日本東洋医学会関西支部例

- 会、滋賀、2009.11
- 25) 中西美保、蔭山 充、中井恭子、有光潤介、井上隆弥、岸田友紀、萩原圭祐、大谷安司、尾崎和成、清水健太郎、西田慎二: 舌痛症に加味逍遙散と立効散が著効した1例、日本東洋医学会関西支部例会、滋賀、2009.11
 - 26) 有光潤介、萩原圭祐、大谷安司、尾崎和成、中西美保、大塚静英、井上隆弥、岸田友紀、清水健太郎、西田慎二: 全身性エリテマトーデスに対して人參湯が有効であった一例、日本東洋医学会関西支部例会、滋賀、2009.11
 - 27) 岡田直己、大谷安司、大塚静英、千々和真理、西田慎二、竹内睦子、西本 隆: 漢方薬によると考えられた薬剤性肝障害について-当院での1年間の発生状況報告-、日本東洋医学会関西支部例会、滋賀、2009.11
 - 28) 西本 隆、大塚静英: 浮腫の東洋医学的病態に関する検討-通膈湯の著効例より-、日本東洋医学会関西支部例会、滋賀、2009.11
 - 29) 志馬千佳、蔭山 充、中井恭子、中西美保、志馬裕明、今野 彰、西田慎二、越田光伸: “四逆散”にて心身のストレスが軽減し妊婦に至った不妊3症例、日本東洋医学会関西支部例会、滋賀、2009.11
 - 30) 中井恭子、蔭山 充、中西美保、志馬千佳、浮田勝男、今中基晴、石河 修、西田慎二: 月経前症候群(PMS)の『情緒不安定』に、“甘麦大棗湯”が劇的に有効であった7例、日本東洋医学会関西支部例会、滋賀、2009.11
 - 31) 大塚静英、有光潤介、伊添千寿、萩原圭祐、大谷安司、尾崎和成、中西美保、井上隆弥、岸田友紀、清水健太郎、西田慎二: 枸杞子が月経に影響を与えた3症例、日本東洋医学会関西支部例会、滋賀、2009.11
 - 32) 大谷安司、西田慎二、西本 隆: 関節リウマチに補中益気湯加減が奏効した1例、日本東洋医学会関西支部例会、滋賀、2009.11
 - 33) 河合麻理、平野 亨、小川真佐子、森嶋淳仁、桑原裕祐、石井泰子、有光潤介、萩原圭祐、榎崎雅司、嶋良仁、緒方篤 川瀬一郎、田中敏郎: 酵素処理イソケルシトリンのスギ花粉症に対する有効性の検討、日本臨床免疫学会総会、東京、2009.11
 - 34) 井上隆弥、阪上 学、前田 倫: 重度の薬物乱用頭痛に対し漢方治療が有効であった2症例の経験、日本頭痛学会総会、宇都宮、2009.11
 - 35) Ozaki K, Arimitsu J, Hagihara K, Otani Y, Nakanishi M, Inoue T, Otsuka S, Shimizu K, Kishida Y, Kageyama M, Morishita R, Nishida Shinji: Three cases of severe bradycardia

including Sick Sinus Syndrome in Elderly Dementia Patients Treated with Herbal Medicine Gorei-san (Wu-Ling-San, or Poria Powder with Five Herbs): The 6th World Congress of Chinese Medicine, Melbourne, 2009.12

◇論文発表

A) 原著

- 1) Kishida Y, Nishii T, Inoue T, Nishida S, Arimitsu J, Yoshikawa H, Sugano N: Juzentaihoto(TJ-48), a traditional Japanese herbal medicine, influences hemoglobin recovery during preoperative autologous blood donation and after hip surgery. *Int J Clin Pharmacol Ther*, 2009 Dec ; 47(12): 716-21
- 2) T. Hattoria, W. Fei, T. Kizawa, S. Nishida, H. Yoshikawa, and Y. Kishida: The fixed herbal drug composition “Saikokaryukotsuboreito” prevents bone loss with an association of serum IL-6 reductions in ovariectomized mice model. *Phytomedicine* (in press)
- 3) Tanaka T, Kuwahara Y, Shima Y, Hirano T, Kawai M, Ogawa M, Arimitsu J, Hagihara K, Narazaki M, Ogata A, Kawase I, Kishimoto T: Successful treatment of reactive arthritis with a humanized anti-interleukin-6 receptor antibody, tocilizumab. *Arthritis Rheum*, 2009 Dec 15 ; 61(12): 1762-4
- 4) Ogata A, Mori M, Hashimoto S, Yano Y, Fujikawa T, Kawai M, Kuwahara Y, Hirano T, Arimitsu J, Hagihara K, Shima Y, Narazaki M, Yokota S, Kishimoto T, Kawase I, Tanaka T: Minimal influence of tocilizumab on IFN-gamma synthesis by tuberculosis antigens. *Mod Rheumatol*, 2009 Nov 7
- 5) Terabe F, Kitano M, Kawai M, Kuwahara Y, Hirano T, Arimitsu J, Hagihara K, Shima Y, Narazaki M, Tanaka T, Kawase I, Sano H, Ogata A: Imatinib mesylate inhibited rat adjuvant arthritis and PDGF-dependent growth of synovial fibroblast via interference with the Akt signaling pathway. *Mod Rheumatol*, 2009 ; 19(5): 522-9
- 6) Nishida S, Hagihara K, Shima Y, Kawai M, Kuwahara Y, Arimitsu J, Hirano T, Narazaki M, Ogata A, Yoshizaki K, Kawase I, Kishimoto T, Tanaka T: Rapid improvement of AA amyloidosis with humanised anti-interleukin 6 receptor antibody treatment. *Ann Rheum Dis*, 2009 Jul ; 68(7): 1235-6.

- 7) Hirano T, Kawai M, Arimitsu J, Ogawa M, Kuwahara Y, Hagihara K, Shima Y, Narazaki M, Ogata A, Koyanagi M, Kai T, Shimizu R, Moriwaki M, Suzuki Y, Ogino S, Kawase I, Tanaka T : Preventative effect of a flavonoid, enzymatically modified isoquercitrin on ocular symptoms of Japanese cedar pollinosis. *Allergol Int*, 2009 Sep ; 58(3) : 373-82
- 8) Kawai M, Hirano T, Arimitsu J, Higa S, Kuwahara Y, Hagihara K, Shima Y, Narazaki M, Ogata A, Koyanagi M, Kai T, Shimizu R, Moriwaki M, Suzuki Y, Ogino S, Kawase I , Tanaka T : Effect of enzymatically modified isoquercitrin, a flavonoid, on symptoms of Japanese cedar pollinosis : a randomized double-blind placebo-controlled trial. *Int Arch Allergy Immunol*, 2009 ; 149(4) : 359-68
- 9) Kawai M, Hagihara K, Hirano T, Shima Y, Kuwahara Y, Arimitsu J, Narazaki M, Ogata A, Kawase I, Kishimoto T, Tanaka T : Sustained response to tocilizumab, anti-interleukin-6 receptor antibody, in two patients with refractory relapsing polychondritis. *Rheumatology(Oxford)*, 2009 Mar ; 48(3) : 318-9
- 10) Ogata A, Terabe F, Nakanishi K, Kawai M, Kuwahara Y, Hirano T, Arimitsu J, Hagihara K, Shima Y, Narazaki M, Tanaka T, Kawase I : Etanercept improved primary biliary cirrhosis associated with rheumatoid arthritis. *Joint Bone Spine*, 2009 Jan ; 76(1) : 105-7
- 5) 西田慎二、蔭山 充、志馬千佳、中井恭子:不妊と漢方、産婦人科治療、1 : 76-80、2009
- 6) 中井恭子、蔭山 充、平井光三、今中基晴、浮田勝男、石河 修、中西美保、志馬千佳、高島桂子、西田慎二:月経前の『情緒不安定』な症状に“甘麦大棗湯”に著効したPMS7例の検討、産婦人科漢方のあゆみ、26 : 57-64、2009
- 7) 志馬千佳、蔭山 充、志馬裕明、今野 明、横山裕美子、西田慎二、越田光伸:菜食主義の女性が食事の改善と“八味地黄丸”の内服で劇的に卵巣機能が改善し妊娠・分娩に至った38歳の症例、産婦人科漢方のあゆみ、26 : 78-83、2009
- 8) 西田慎二 : うつ病・不安神経症、治療、91 : 1768-1772、2009

◇その他の活動（一般向け講演・マスメディア・取材など）

- 1) 西田慎二 : 「漢方医学の基礎知識1」、主催 : 朝日カルチャーセンター、大阪、2009.4
- 2) 西田慎二 : 「漢方医学の基礎知識2」、主催 : 朝日カルチャーセンター、大阪、2009.5
- 3) 大塚静英 : 「女性と漢方」、主催 : 朝日カルチャーセンター、大阪、2009.11
- 4) 中西美保 : 「痛みと漢方」、主催 : 朝日カルチャーセンター、大阪、2009.11

B) 総説、症例報告など

- 1) 中西美保、蔭山 充、福井弥己郎、野坂修一、有光潤介、井上隆弥、岸田友紀、西田慎二:柴胡剤と駆瘀血剤の併用が著効した頸椎疾患の3症例、痛みと漢方、19 : 35-9、2009
- 2) 萩原圭祐、河合麻理、有光潤介、西田慎二、坂田泰史、田中敏郎:症例からみる肺高血圧症の最新薬物治療 難治性下痢をともなう膠原病性肺高血圧症患者にボセンタンが奏効した1例、モダンフィジシャン、29 臨時増刊、2009
- 3) 有光潤介、萩原圭祐、大谷安司、中西美保、井上隆弥、岸田友紀、西田慎二:エキス製剤ではコントロール困難であったレイノー現象に対して当帰四逆加呉茱萸生姜加減が著効した1例、56 : 284-8、2009
- 4) 中井恭子、蔭山 充、中西美保、志馬千佳、高島桂子、西田慎二 : 不定愁訴の筋肉痛に、“疎経活血湯”が劇的に鎮痛効果を発揮した58歳女性、漢方研究、1 : 9-11、2009